

R5 薬用作物産地支援 栽培技術研修 北海道会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物（特に国内生産重点品目）の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 駅前交流プラザ よろーな 会議室3（北海道名寄市東1条南7丁目1-10）

実施時期： 8月29日(火)～30日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
8月29日 (火)	13:10- 13:30 (20分)	13:00現地集合 場所：名寄駅 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:30- 15:00 (90分)	[現地研修] 名寄市農業振興センター ↓ 古木氏 圃場	名寄市の「カノソウ」栽培圃場の現地研修を通じて、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	古木 益夫 六郎田 直人	名寄市薬用作物研究会
	15:00- 15:30 (30分)	移動(バス利用)		事務局	
	15:30- 16:30 (60分)	[現地研修] 国立研究開発法人医薬 基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究セン ター北海道研究部	薬用作物の特徴、種子・種苗の供給、品質評価、研究開発の状況等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	林 茂樹	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究 所 薬用植物資源研究センター 北海道研究部
	16:30- 16:45 (15分)	移動(バス利用) →名寄駅前	初日解散	事務局	
8月30日 (水)	9:00- 9:50 (50分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと 今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	兀下 敏幸	日本漢方生薬製剤協会生 薬国内生産検討班
	10:00- 11:10 (70分)	[講義] 薬用作物の栽培技術につ いて(仮題)	地域の生産者からの要望の高い栽培技術について解説する(シャクヤク、トウキほか)。	林 茂樹	国立研究開発法人 医薬 基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター 北海道研究部 研究リー ダー
	11:20- 12:00 (40分)	[講義] 名寄市における薬用作物 生産の取り組み(仮題)	名寄市におけるカノソウの生産振興に関する地域・生産者の取り組みを紹介する。	六郎田 直人	名寄市役所経済部農務 課 農業振興係 主査
	12:00- 13:00	昼 食			
	13:00- 14:30 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形 成における課題と対応	事前提出資料の報告をもとに、各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40- 15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	